お知らせします　平成13年度　特別会計予算

町の予算は、一般会計のほか、特別会計として国民健康保険、老人保健、介護保険、水道事業、下水道事業、家畜診療所の６事業会計から成っています。

これらの特別会計についてそれぞれお知らせします。

国民健康保険特別会計

6億391万円

（12年度　5億7,116万円）

前年度比5.1％増

国民健康保険とは、職場の健康保険などに加入していない人が加入する保険で、病気をしたときに経済的な心配がなく、安心して医療が受けられる制度です。この制度を支えているのがみなさんの納める保険税で、医療費にあてる大切な財源となっています。

今年度予算は、対前年度比5・1％増の6億391万円になりました。これは、加速する高齢社会を背景に老人医療費の増高に加え、長引く経済不況による国保被保険者の増加と、医療技術の進歩発展に伴い高度な治療が行われた結果、医療費が増加したことなどが要因です。

医療費の節減のためには病気の早期発見、早期治療が欠かせません。そのため国保では、人間ドックの経費を助成しています。

今年度の町内の国保加入者は、3、589人（うち退職者被保険者は381人）と見込んでいます。また、国民健康保険税収納の低下等により、国保運営は厳しさを増しています。

医療費の適正化と保険税収納率の向上を図り、加入者の健康保持と国保財政の健全化のため、ご理解とご協力をお願いします。

老人保健特別会計

9億2,789万円

（12年度　7億8,346万円）

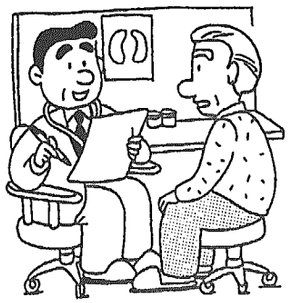
前年度比18.4％増

老人保健特別会計予算は、対前年度比18・4％増の9億2、789万円になりました。

介護保険制度の導入により、老人保健施設療養費関係は、介護保険に移行した結果減額となりましたが、高齢者人口の増加（本年度は1、460人）と、高齢者の病気の多様化、長期化と相まって、医療技術の進歩による医療費の増加が見込まれています。

老人保健特別会計は、医療保険の拠出金（皆さんが払っている保険料）と国及び県の負担金、町からの繰入金（税金から）で運営されています。

医療費が増えるということは、皆さんの負担が増えることにつながります。健康的な生活を心がけて、医療費の増加に歯止めをかけましょう。



介護保険特別会計

3億9,800万円

（12年度　4億2,600万円）

前年度比6.6％減

急速な高齢化とともに、介護問題が老後の最大の不安要因となっています。

介護が必要となっても、残された能力を活かしつつ、尊厳を持って生活できるようにすることは、人間共通の願いですが、現実には家族だけで介護することは非常に困難になってきています。そのため、40歳以上のすべての人が保険料を納め、介護が必要となったらサービスを受けながら、自立した生活を送るためのしくみとして、昨年4月に介護保険制度がスタートしました。

この1年間は順調なサービスの提供が行われており、現在、町内で約200名の方々が認定されてサービスを受けています。

町における介護保険特別会計予算は、サービスの給付水準を定めている事業計画により、昨年のサービス給付実績等を考慮しつつ、それぞれのサービスの量や保険料などの歳入により、3億9、800万円の予算規模となりました。

今後も一般施策と連携を密にした福祉施策の円滑な実施のため、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

水道事業会計

2億5,890万円

（12年度　2億5,610万円）

前年度比1.1％増

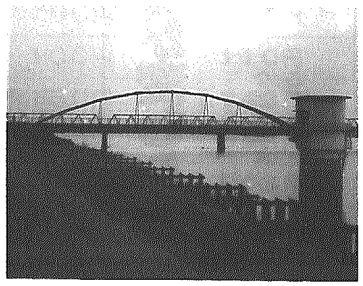
水道事業会計予算は、対前年度比1・1％増の2億5、890万円となりました。

今年度の水需要は、前年同様の144万㎥を見込んでいます。

これは前年同様、一般家庭等の増量は期待できない状況にあるためです。

水道使用料について、今年4月より10％の値上げを行います（今月号7ページに関連記事を掲載）。

老朽化した石綿管の布設替え、生活様式の変化に伴う水道管口径の拡大・環状化を図り、今後とも水の安全かつ安定した供給に努めていきます。



横越町の水道水（焼山を除く）は、横雲橋上流の取水塔から取水され、浄水された後、各家庭に送られています。

下水道事業特別会計

6億5,800万円

（12年度　8億5,400万円）

前年度比23.0％減

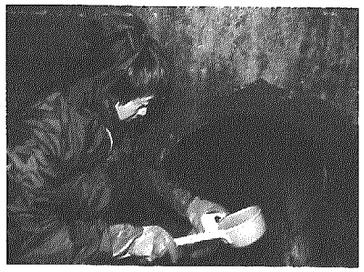
下水道事業特別会計予算は、対前年度比23・0％減の6億5、800万円となりました。

これは、計画区域の整備がほぼ完了し、今年度の工事区間が減少したためです。

主な内訳としては、工事費に2億1、800万円、補償費に820万円、借入金の返済に2億9、800万円、流域処理場建設負担金に980万円、汚水処理費・維持管理費に7、300万円となっています。

横越町では、今年度中に計画区域300ヘクタール全域の下水道整備を完了する予定です。

工事では、二本木、駒込の未整備地区の管渠布設工事と小杉の舗装復旧工事を実施します。併せて、ポンプ場や汚水管渠の適切な維持管理を行うとともに、水洗化の普及促進を図ります。



下水道の水質検査を実施しています。

家畜診療所特別会計

1,602万円

（12年度　1,595万円）

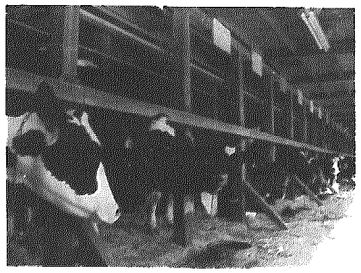
前年度比0.4％増

家畜診療所特別会計予算は、対前年度比0・4％増となる1、602万円となりました。

運営に関しましては、新潟中央農業共済組合、亀田郷みなみ農協、横越町酪農組合からの分担金、および町からの負担金と診療収入により運営しています。

町の畜産は、酪農と養豚であり、飼養頭数は乳牛530頭、肉豚1、506頭となっており、農業の中でも基幹となる役割を担い営農されています。

診療所では、獣医師によりこれら家畜の病気発生の低減や飼養管理の指導を行うなど、関係する機関、団体と連携を図りながら、町の畜産振興に努めていきます。



牛や豚の健康管理に努めています。